



ホンキの君とつながりましょう



大臣官房秘書課試験企画係

〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5-1
防衛省代表：03-3268-3111 (内線25003、25005)
URL: <https://www.mod.go.jp/j/saiyou/>



防衛省HP
採用ページ



防衛省採用チーム
Twitter



防衛省事務官・技官
採用チームInstagram

防衛省 Ministry of Defense

2024 採用パンフレット

国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験、高卒程度試験)

2024



リアル
熱い心が未来になる。

「我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つこと」

これは、我が国の発展と繁栄を実現するための根幹であり、必要不可欠なものです。

我が国を含む国際社会は新たな危機の時代に突入しました。

戦後、最も厳しく複雑な安全保障環境の中で、国民の命と平和な暮らしを守り抜くために、

私たちは今まで以上の困難に直面するかもしれません。

しかし、それを乗り越えていくたびに団結力を高め、私たちは組織とともに成長していきます。

「私たちは、国民の命と平和な暮らしを守り抜く。」

このプライドと熱い心を胸に、

私たちは新たな課題に挑み続けていきます。

CONTENTS

- P03 各試験における採用区分等
- P04 防衛省の採用について
- P05 組織図・勤務条件
- P06~ 組織の役割と特色・業務内容
- P25~ 採用や人事管理に関するQ&A
- P26~ 採用担当×若手職員座談会
- P28~ キャリアパス
- P30 ワークライフバランス

各試験における採用区分

国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験） ● 行政 ● デジタル・電気・電子 ● 機械 ● 土木 ● 建築 ● 物理

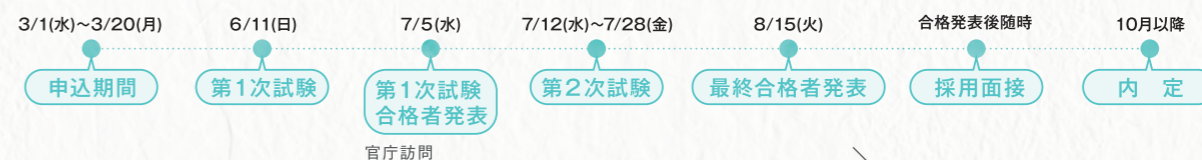
国家公務員採用一般職試験（高卒程度試験） ● 事務 ● 技術（電気・情報系、機械系、土木系、建築系）

行政／事務	事務官として、本省では主に政策の企画・立案を、各機関では総務、法令、人事、会計、渉外等の業務に従事します。
デジタル・電気・電子	技官として、電子機器の点検・整備・プログラミングや、電気・通信設備工事の設計・監督業務、サイバーセキュリティ業務等に従事します。
機 械	技官として、装備品の点検・整備・契約実務や、自衛隊施設の建設に必要な機械設備工事の設計・監督等に従事します。
土 木	技官として、飛行場や港湾といった自衛隊施設の建設に必要な土木工事の設計・監督等に従事します。
建 築	技官として、庁舎、格納庫、整備工場、通信施設等の建築工事の設計・監督等に従事します。
物 理	技官として、オペレーションズ・リサーチにより科学的・定量的な分析を行い、防衛力整備計画の諸元を算定します。

注：年度によって採用予定のない試験区分があります。試験の詳細は人事院ホームページをご参照ください。

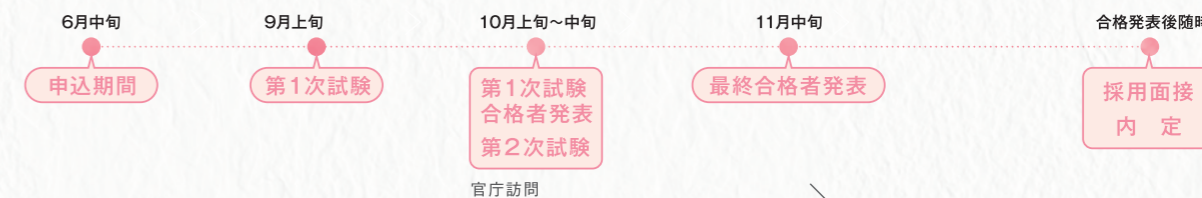
2023年度 採用試験スケジュール

国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）



注：詳細な試験や官庁訪問の日程等については、人事院ホームページをご参照ください。

国家公務員採用一般職試験（高卒程度試験）



注：詳細な試験や官庁訪問の日程等については、人事院ホームページをご参照ください。

防衛省の採用枠は大きく分けて3つあります

本省内部部局採用	本省内部部局での採用となり、主に防衛政策の企画・立案等に従事します。
New! 本省所在機関採用	①1,2年目は本省所在6機関(※)において、各機関の施策の企画・立案の補佐業務を行い、将来防衛省・自衛隊の中核機能を担うべく基礎的知識・技能等を修得 ②3年目からは本省内部部局において、政策的業務に触れ、内部部局の仕事の仕方・ものの考え方を身につけるため、6年間勤務 ③9年目以降は、本人の希望、意欲、能力、適性等を踏まえ、本省内部部局を含む本省所在機関において横断的に勤務 ※本省所在6機関 統合幕僚監部・陸上幕僚監部・海上幕僚監部・航空幕僚監部・情報本部・防衛装備庁
機関採用	各機関での採用となり、総務、人事、会計、予算、厚生等の一般的な業務や、装備品等の調達、防衛施設建設、基地等の維持・管理などの業務に従事します。 ※勤務地は市ヶ谷地区のほか、全国に所在する地方防衛局や地方協力本部等になります。

📌 能力・適性・意欲に応じ、採用枠にとらわれず本省内部部局や本省所在機関への登用も行っていきます。

防衛省の採用について

転勤・ブロック管理紹介

防衛省では、これまで全国転勤を前提とした人事管理を行っていましたが、2022年度から、中央と各地方(北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中国・四国、九州、沖縄)を単位としたブロック型人事管理を行っています。これにより職員やその家族の負担となっている転勤や単身赴任が削減されています。

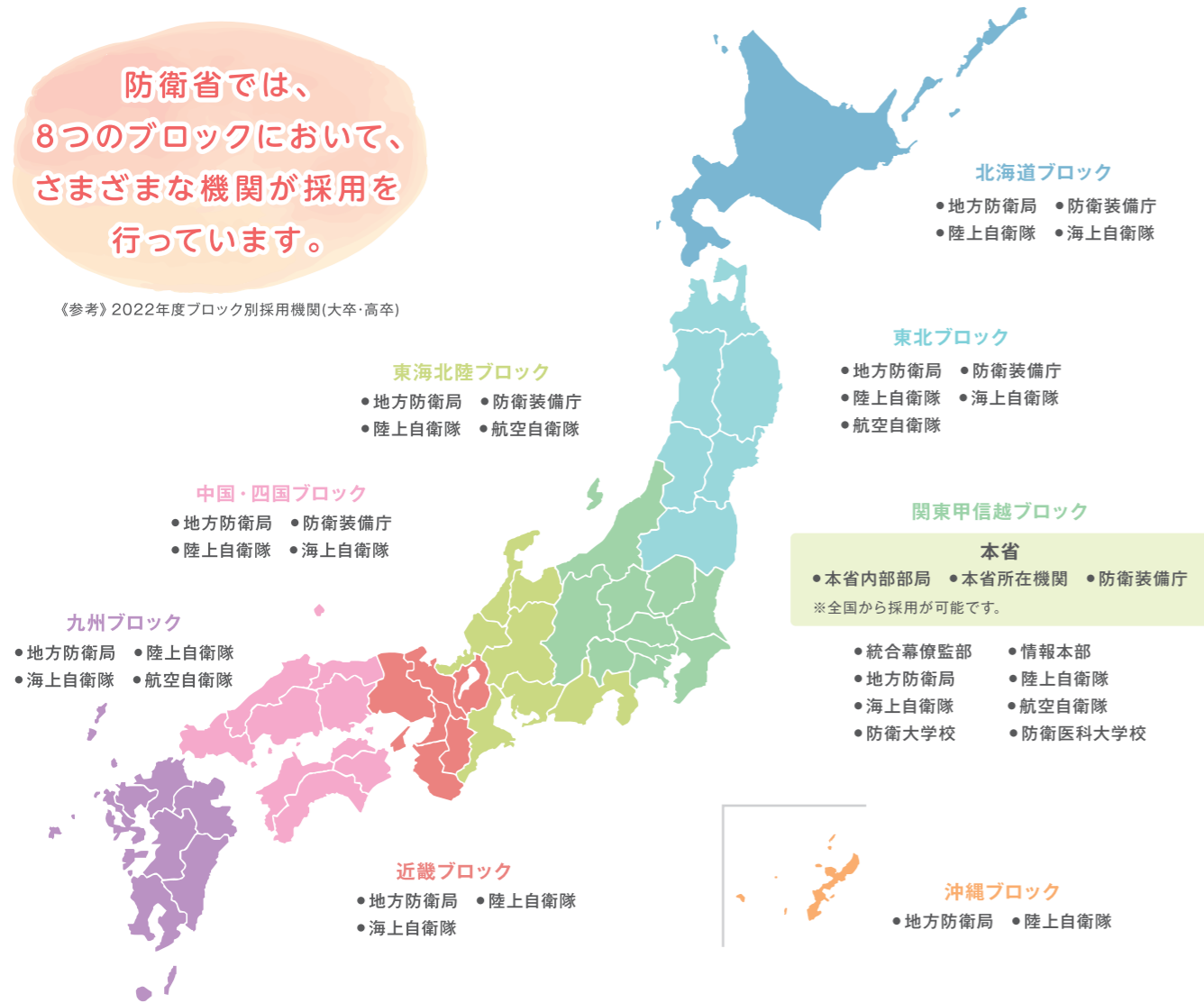
※採用後、概ね2~3年のサイクルで人事異動がありますが、転勤する場合でも、ブロック内が基本となります。
※希望・適性等によっては、地方ブロック採用であっても本省への異動も可能です。



詳細な各機関の所在地はこちら

防衛省では、
8つのブロックにおいて、
さまざまな機関が採用を
行っています。

《参考》2022年度ブロック別採用機関(大卒・高卒)



こちらのQRコード先で、ブロック型人事管理における様々な人事異動のモデルを紹介しています。



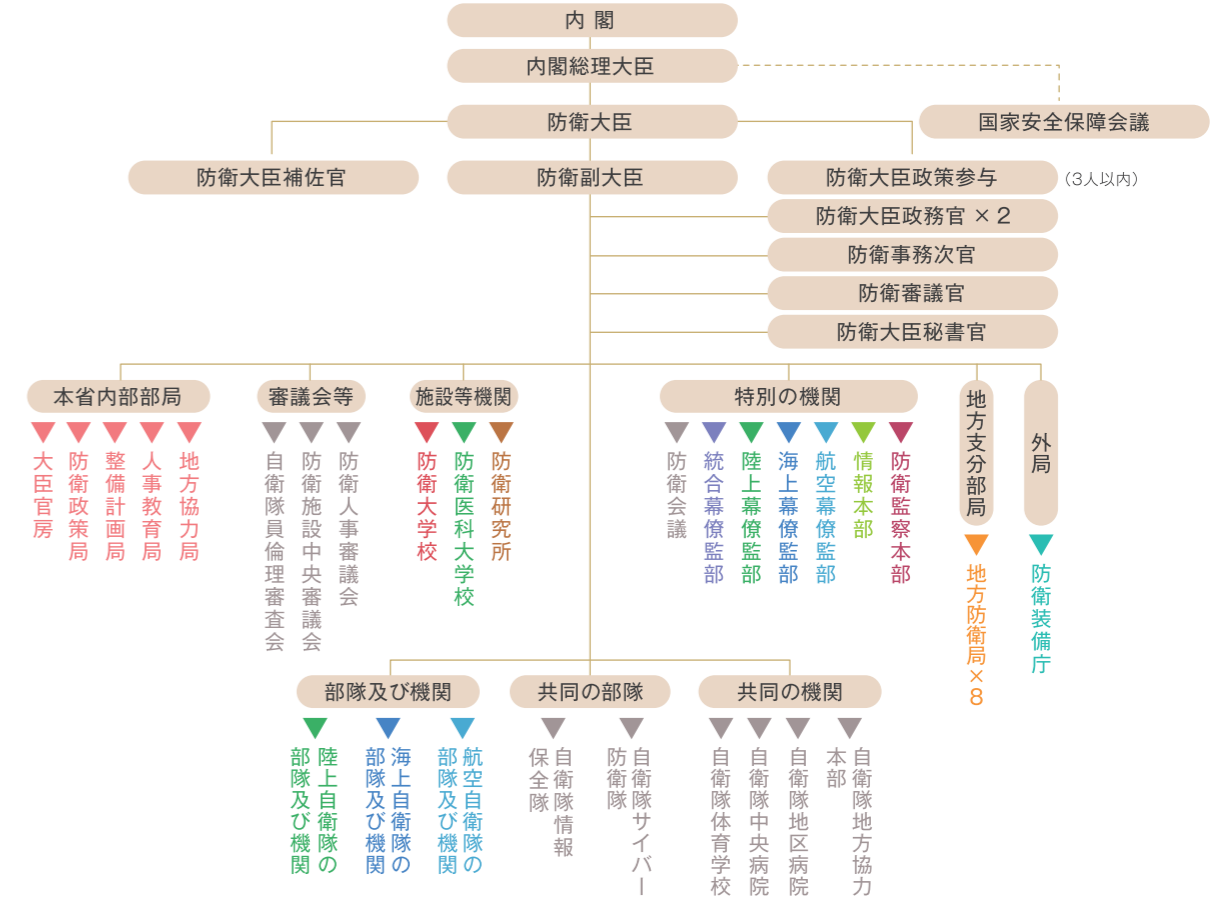
各ブロック内で活躍している職員はこちら



組織図・勤務条件

組織図

(2023.1.31現在) (臨時又は特例で置くものを除く)



勤務条件

給与 採用時の給与は、採用される職務、経験、勤務地等によって異なります。表は、新規卒業者が東京都特別区に勤務した場合の一例です。

注：一般職(社会人(係員級))の採用時の給与は採用前の経歴により異なりますが、表では例として高校卒業後、30歳で採用された場合の支給額です。

一般職(大卒程度)	行政職俸給表(一) 1級25号俸の場合 研究職俸給表1級25号俸の場合	222,240円 228,480円
防衛省専門職	行政職俸給表(一) 1級25号俸の場合	222,240円
一般職(社会人(係員級))	行政職俸給表(一) 1級	203,760~ 267,960円
一般職(高卒者)	行政職俸給表(一) 1級5号俸の場合 研究職俸給表1級5号俸の場合	185,520円 185,880円

手当

- 扶養手当: 扶養親族(配偶者等)のある者に、月額6,500円等
- 住居手当: 借家居住者等に、月額最高28,000円
- 通勤手当: 交通機関等利用者に、1箇月最高55,000円
- その他: 超過勤務手当等
- 期末手当・勤勉手当(いわゆるボーナス): 1年間に俸給などの4.4ヶ月分

勤務時間 勤務時間は1日7時間45分、原則として土、日曜日及び祝日等は休みで週2日制を実施しています。

休暇等 休暇: 年20日の年次休暇(4月1日採用の場合、採用の年は15日、残日数は20日を限度として翌年に繰り越し)のほか、病気休暇、特別休暇(夏季・結婚・出産・忌引・子の看護・ボランティア等)、介護休暇があります。

※上記の額は、2023年1月現在の各種規定に基づくものです。

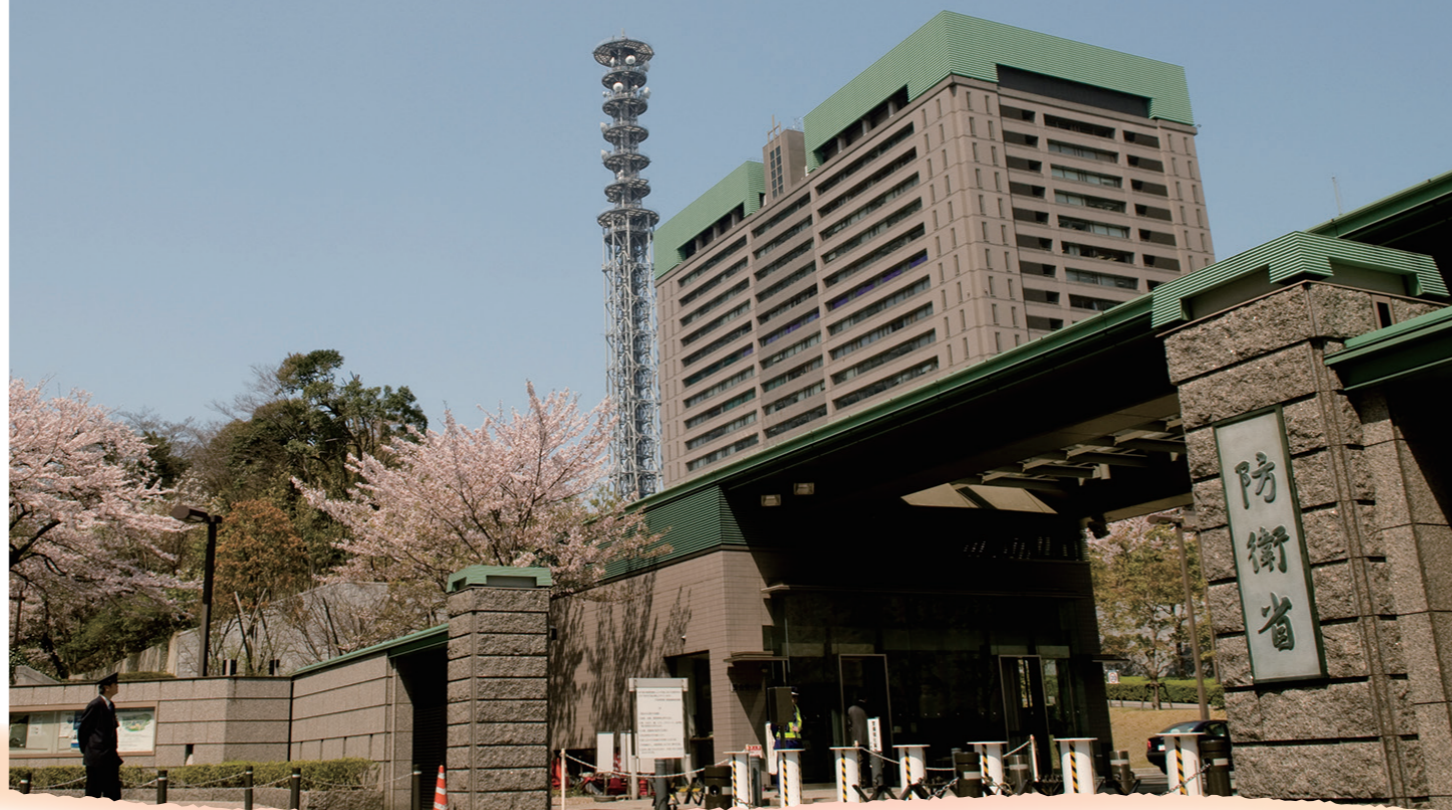
防衛政策の中核で 新たなミッションに挑戦する

役割と特色

我が国を含む国際社会は、今、戦後最大の試練の時を迎え、新たな危機の時代に突入しています。

こうした厳しい安全保障環境の中、国民の命と平和な暮らしを守り抜くという防衛省の使命を果たすため、本省内部部局は、防衛政策の企画立案をはじめとした防衛行政の司令塔としての役割を担っています。

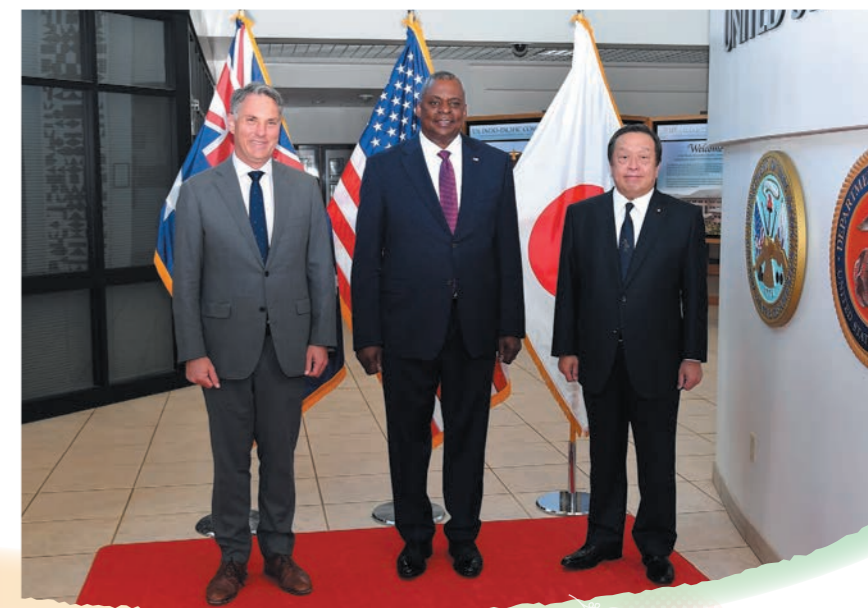
本省内部部局で勤務する職員は、我が国防衛の中核で様々な経験を経て、将来的には、防衛政策のスペシャリストとなり、日本の行く末を左右する局面において内閣総理大臣や防衛大臣を政策・制度面で補佐する立場として、我が国の安全保障に寄与することになります。



業務内容

防衛政策の基本的方針を定める戦略文書の作成、その戦略を実現するための防衛力整備、法律及び予算の策定、日米同盟強化・安全保障協力推進のための様々な調整・交渉等、本省内部部局で働く職員が取り扱う業務は多岐にわたります。これらに従事する中で自身の専門性を磨き、自らの成長も感じながら、我が国の安全保障に貢献できることは、皆さんの人生に大きなやりがいをもたらしてくれるでしょう。

我が国の未来のため、我々を待ち受ける新たなミッションへ共に挑戦する熱い想いをを持った皆さんをお待ちしております。



明日のサイバーには君が必要だ

※ 現在の職務内容について

情報通信技術の進展により、様々なものがネットワークに依存している現在、サイバー領域は、安全保障上より一層重要になってきています。その中で、私は、防衛省・自衛隊のサイバー防衛能力の抜本的強化に向けた施策やサイバー予算の企画・立案・取りまとめに携わっています。

※ 仕事で普段心がけていることは

常にアンテナを高くしておくことを意識しています。私たちの仕事は時として時間に迫られることもあり、今何が起きているのか、今のうちに準備しておいた方がいいことはないか、を考えて職務に精進しています。

※ 休日の過ごし方(リフレッシュ方法)について

平日は運動不足になりがちなので、運動しています。特に、ゴルフを去年から始めたのですが、ラウンドに行くと大自然を感じ、リラックスでき頭の中がすっきりしてハマっています。目標はシングルです。

※ 仕事のやりがいについて

サイバー領域は、平素から国家間の競争の舞台となり、今や、誰も気づかない間に侵攻が始まり、軍隊を使わない形の闘いが展開され、それが事態の有利不利を決定づけるような分野になりつつあります。そんな重要な分野における、防衛省・自衛隊の能力強化の方向性やそのための事業の検討を引っ張る仕事に日々刺激を受けています。



世界との防衛協力・交流を担う

※ 現在の職務内容について

大臣をはじめとする防衛省の高官の会談の調整や、各国との防衛協力・交流に関する制度面の検討・整備などを担っているのが国際政策課です。私は主に国会業務や関係省庁・省内他課との連絡調整業務を行っています。

※ 防衛省や自機関の魅力・アピールポイントについて

防衛省が担う国防という仕事は、想像以上に多種多様な業務のうえに成り立っています。様々な視点から国防に携わることで、自分自身の視野や可能性を広げ続けることができる点に大きな魅力を感じます。

※ 休日の過ごし方(リフレッシュ方法)について

休日はヨガに通っています。汗を流しながらストレッチもできるので、体がとてもスッキリして日頃の疲れがリセットされます。ほかにも家族や友人と旅行に行ったり、家でゆっくり過ごしたり、仕事から離れて休みを満喫しています。



※ 仕事のやりがいについて

防衛省では、若手の頃から責任のある重要な案件に携わる機会が多くあります。自身が携わった案件がニュースで取り上げられているのを見ると、防衛交流の一端を担えたことを実感し、責任と同時に大きなやりがいを感じます。

所 属：防衛政策局 国際政策課
採用試験名：一般職(大卒程度) 入省2年目
試験区分：行政
趣 味：ヨガ、カフェ巡り
試験対策で重視した事
：取れる問題を落とさず確実に取ること

所 属：整備計画局 情報通信課
採用試験名：一般職(大卒程度) 入省8年目
試験区分：行政
趣 味：スキー、ゴルフ、飲み会
試験対策で重視した事
：センスを磨くこと

運営から政策を担う 新たなステージへようこそ

役割と特色・業務内容

本省所在機関という採用区分は、我が国を取り巻く安全保障が極めて速いスピードで変化している中において、本省所在機関で経験を積み、将来、防衛政策のスペシャリストとして内閣総理大臣や防衛大臣を政策・制度面で補佐する立場となって活躍するため、2021年度に新設されたものです。

採用後は、我が国の防衛政策や自衛隊の運用、情報等に係る施策の企画立案や推進を担当し、将来、内部部局をはじめとする本省所在機関の管理職員を目指すことのできる採用区分です。

本省所在機関の魅力とは

本省所在機関採用者は、入省1年目から防衛省の中核機関で勤務し、防衛予算や未来を見据えた人的基盤の強化など非常にやりごたえのある業務を担当することができます。

また、業務を通じて現場の視点を獲得することは、3年目以降、内部部局で勤務するにあたって大いに役立ちます。



所属：陸上幕僚監部 人事教育部 人事教育計画課
採用試験名：一般職（大卒程度） 入省1年目
試験区分：行政
趣味：ロードバイクでのツーリング
試験対策で重視した事：今までの自らの経験をアピールすること

様々な業務に自ら挑戦し、日々成長

※ 現在の職務内容について

私は国賓や国防大臣が来日する際に敬意を表するための儀式である特別儀仗に関する調整業務を担当しています。具体的には、特別儀仗隊の活動の根拠となる通達の作成や現地における進行管理等を担当しています。

※ 仕事で普段心がけていることは

3年目からの内局勤務では、より主体性や実行力が求められるため、“仕事は自ら掴み取るもの”という姿勢を大切に、様々な業務に自ら関わっていくことを意識しながら日々の業務に取り組んでいます。

※ 防衛省や自機関の魅力・アピールポイントについて

本省所在機関採用者は、1年目から指揮官等を経験した方が多くいる中央機関での勤務となり、様々な視点から物事を考え、自ら行動することを求められ大変なときもありますが、日々自らの成長を感じられるため、向上心のある方にお勧めの採用区分です。

※ 仕事のやりがいについて

本省所在機関採用者は、1年目から中央機関勤務を経験できることが魅力であり、私も1年目から特別儀仗の業務の担当者として勤務しており、初めて自分で作った通達を根拠に部隊が行動した際は、すごくやりがいを感じました。



自衛官と共に、人的基盤の未来を見据える

※ 現在の職務内容について

事務官の人事業務に幅広く携わっています。採用から経歴管理、入校や表彰、退職まで職員の処遇に直結することが多いので、1人1人の将来を考慮しながら業務を遂行することの大切さを日々感じています。

※ 志望動機について

自衛官である父に連れられて自衛隊のイベントに参加したことで防衛省の活動を知り、自分も国の安全保障の一翼を担う仕事がしたいと思ったことがきっかけです。事務官と自衛官で迷いましたが、幕僚監部において現場に対する広範な知識を培い、その知見をもって国内外で活躍する隊員をリードするための法整備に携わりたいと思い、所在機関を志望しました。

※ 仕事で普段心がけていることは（内局勤務に向けて）

情報収集とコミュニケーションを意識して業務を行っています。上司や先輩の動きから、省におけるホットな話題やそれに応じた行動を把握することで、将来、突発的な業務にも対応できる職員になるための準備をし、日々成長できるよう努めています。

※ 休日の過ごし方（リフレッシュ方法）について

休日は、ミュージカルやお笑いの舞台鑑賞、旅行を楽しんでいます。平日はデスクワークが中心なので、休日は体を動かしメリハリをつけることで日々の業務に集中できるようにしています。



航空幕僚監部で空を知る

※ 現在の職務内容について

会計課で、空自のお財布の管理を担当しています。北海道から沖縄に広がる各基地のカーテンから、空自の目玉である航空機の取得まで、あらゆる空自予算の執行業務に携わっています。組織が何にお金を使い、どう動こうとしているのかをタイムリーに感じることができます。

※ 仕事で普段心がけていることは

航空幕僚監部の知識を深めています。基地で航空機を見たり、財務省で財務説明を聞いたり、予算業務を主とした防衛行政の現場を訪れて多くの知見を得ました。今後、空自での経験を活かして、内部部局でキャリアアップしていきたいです。

※ 休日の過ごし方（リフレッシュ方法）について

同期と出かけたり、英語の自学研鑽をしたりして楽しんでいます。切磋琢磨できる同期がいることで、より高みをめざして自分自身の能力を磨きたいという気持ちを維持することができています。



※ 防衛省や自機関の魅力・アピールポイントについて

一人ひとりがキラキラと働いています。特に空幕会計課ではワークライフバランスを重視しており、趣味に没頭する時間も作れています。私生活を充実させながら国防の一端を担うことができ、毎日意気揚々と登庁しています。



所属：航空幕僚監部 総務部 会計課
採用試験名：一般職（大卒程度） 入省1年目
試験区分：行政
趣味：体重管理・コーヒー店探し
試験対策で重視した事：アウトプットを繰り返す



所属：統合幕僚監部 総務部 人事教育課
採用試験名：一般職（大卒程度） 入省1年目
試験区分：行政
趣味：お笑いを観ること、運動、旅行
試験対策で重視した事：防衛白書を読むこと

装備品のライフサイクルを通じて、日本の未来を紡ぐ

役割と特色

防衛装備庁は、防衛省の外局として設置され、装備品等の研究開発及び生産のための産業基盤の強化を図りつつ、研究開発、調達、補給及び管理の適正かつ効率的な遂行並びに国際協力の推進を図ることを任務としています。

また、防衛装備品の適切な研究開発や生産、維持整備等は、我が国の安全保障上、極めて重要です。特に「厳しさを増す安全保障環境を踏まえた技術的優越の確保」、「諸外国との防衛装備・技術協力の推進を含む産業基盤の強靱化」などが重要な課題となっているところです。



業務内容

防衛装備品の一層効率的な取得や、コスト管理の徹底を図るためには、構想から研究・開発、量産・配備、運用・維持、廃棄といったライフサイクルを通じた、一元的かつ一貫したプロジェクト管理が必要となります。防衛装備庁は、このような業務に取り組んでいます。



装備品の研究が防衛力を向上させ、命を守る

※ 現在の職務内容について

新たな装備品を創るために、車両の動力源等に関する要素技術について研究を行ったり試験で性能を評価したりしています。また研究室で試験設備を保有しているため日常的な設備の維持管理を行い、修理・補修の役務の要求や物品の管理なども行っています。

※ 仕事のやりがいについて

新しい分野に挑戦し成長できる点です、専門的に学んできた内容とは違った技術に触れることで視野が広がり、技術者としての成長を実感しています。初めて経験することも多いですが、少しずつ理解を深めていく毎日が楽しいです。

※ 防衛省や自機関の魅力・アピールポイントについて

防衛装備庁は自衛隊が使う実際のモノを扱っているため、私たちの活動は現場の自衛官を直接支援することに繋がります。また装備庁では研究の構想から使用した物品の廃棄まで一貫して行っており、自分の業務がどのような役割を持っているのかを実感し易いです。

※ これまでの勤務で印象に残ったエピソード

研究中の装備品の性能確認試験に参加した際、実際に自衛官が遭遇する過酷な環境を目の当たりにしました。私たちが創る装備品の性能が生命を守ることに直結することを強く感じました。



装備品の調達を通じた自衛隊の後方支援

※ 現在の職務内容について

自衛隊で使用する装備品のうち、国産では調達できない一般輸入品を調達する輸入調達官付で働いています。私は契約業務を担当しており、民間商社や要求元と調整をしながら入札、契約締結、代金支払いなど様々な業務を行っています。

※ 防衛省や自機関の魅力・アピールポイントについて

装備庁の研究所、部隊への見学・研修や契約相手方の会社への出張など、日々のデスクワーク以外にも新しい経験を積み、その中で自分の部署以外にも様々なフィールドの方々と関わりながら仕事ができます。

※ 休日の過ごし方(リフレッシュ方法)について

ドライブで少し遠出をして、岩盤浴や温泉巡りをすることが好きです。また、家で過ごすことも好きなので、土曜は出かけ、日曜は家でゆっくり過ごしながらリフレッシュすることが多いです。

※ これまでの勤務で印象に残ったエピソード

部隊から業務に関わる質問が来て困っていた際に、周りの席の同僚皆で法令根拠や前例を調べてくれたことがとても嬉しかったです。わからないことは上司部下、先輩後輩関係なく互いに教えあう職場なので、日々学習し成長することができます。



所属：調達事業部 輸入調達官付
採用試験名：一般職(大卒程度) 入省1年目
試験区分：行政
趣味：岩盤浴、愛犬と遊ぶこと
試験対策で重視した事：得意科目・好きな勉強に重点を置くこと

所属：陸上装備研究所 機動技術研究部
車体・動力研究室
採用試験名：一般職(大卒程度) 入省1年目
試験区分：デジタル・電気・電子
趣味：車で旅行すること。芸術鑑賞
試験対策で重視した事：面接官が聞きたい内容を意識して伝えること



サイバー攻撃から防衛省のネットワークを守り運用

役割と特色

統合幕僚監部は、防衛出動や災害派遣、国際平和協力活動をはじめとする陸・海・空3自衛隊の部隊行動に際し、統一的な計画を立案、その運用をつかさどる組織として設置され、軍事専門的観点から防衛大臣を一元的に補佐しています。

弾道ミサイルへの対処や東シナ海をはじめとするわが国の周辺海空域における警戒監視、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処活動、数々の国際平和協力活動や国内外で発生する自然災害への対応など広範に活動するとともに、近年重大性が増しているサイバー領域においても、24時間態勢で防衛省の通信ネットワーク及び通信システム等を監視し、サイバー攻撃に対処しています。

業務内容

統合幕僚監部は、陸・海・空の自衛官のほか、多数の事務官等が所属し様々な業務に従事し活躍しています。その中でも新規採用者は、自衛隊サイバー防衛隊において、新たな領域の1つであるサイバー領域の強化を図るため、情報システムの保護やサイバーセキュリティ業務に関する企画立案に従事し、専門知識を発揮して活躍しています。

“サイバー空間”の守護者

※ 現在の職務内容について

陸・海・空の自衛官及び事務官等が一体となり、サイバー空間において防衛省の情報システムを防護する業務に従事しています。サイバー攻撃等への対処能力向上のため、部外や国外の教育・訓練に参加することもあります。

※ 志望動機について

大学で学んだ情報技術を活かして、社会の役に立つ仕事がしたいと考えていました。中でも防衛省では情報技術を通じて国家の安全と平和に寄与することができる点に魅力を感じ、入省を志望しました。

※ 仕事のやりがいについて

様々な技術や知識を駆使し、サイバーという今後より一層重要性の高まる領域で脅威に立ち向かう点です。簡単なことばかりではありませんが、新たな知見を得られた時や業務に役立つ情報を発見できた時はとても嬉しいです。

※ 学生時代にやっておいてよかったことは

意欲的・継続的に勉強する習慣を身につけることです。絶えず進化するサイバー攻撃手法等に対処するには、セキュリティ関連の資格取得や日々の自己研鑽が欠かせないため、社会人になった今も学びに対する姿勢は大切だと思います。

※ 休日の過ごし方(リフレッシュ方法)について

パソコンを触るのが好きなので、インターネットの閲覧や動画編集などをして家でゆっくり過ごすことが多いです。時には好きなアーティストのコンサート等に足を運ぶこともあり、明日からまた頑張ろうという元気を貰っています。

採用試験名：一般職(大卒程度) 入省2年目
試験区分：電気・電子・情報
趣味：動画編集
試験対策で重視した事
：配点が高い分野の反復演習、
面接の回答準備



情報を仕事に ～日本と世界の平和と繁栄のために～

役割と特色

情報本部は、1997年に創設された、我が国最大の情報機関です。

電波、画像・地理情報を収集して解析するのみならず、集約・整理した公開情報等と融合し、総合的な分析に基づくプロダクトを提供することができる、我が国唯一無二の機能を有しています。

我が国を取り巻く安全保障環境が年々厳しさを増している中、相手の行動に先んじてその兆候を察知する「情報」の重要性は益々重くなっており、情報本部もその能力をさらに向上させていくことが求められています。

業務内容

情報本部では、①電子、通信、システム、デジタル等に関する専門知識を保持するとともに最先端の科学技術の追究に励む事務官・技官、②組織を運営するための組織管理能力に長けた事務官・技官が一丸となって仕事をしています。

情報本部が提供するプロダクトは首相官邸における安全保障政策、防衛省における政策、そして自衛隊の部隊運用にかかる意思決定や判断に活かされており、情報本部での仕事は、日本だけでなく世界の平和と繁栄に直結する極めて重要なものになります。

情報本部で働くモチベーション

※ 現在の職務内容について

私は現在、電波情報の解析に関する業務を行っています。上司・先輩等に助けていただくこともあり、もどかしさや自分の力不足を感じることも少なくありませんが、そのぶん小さなことでも新たな発見を得られたときはとても嬉しく感じます。

※ 志望動機

日本の安全を支えるという仕事内容に憧れ、興味を持ちました。また、業務説明会に参加した際に、対応してくださった情報本部の職員の皆さんが優しく、この方たちと一緒に働きたいと思い志望しました。

※ 仕事のやりがいについて

明確な答えが見つからないことも多いですが、そのぶん探求心が刺激される仕事だと思っています。自分の考えや意見をとても尊重してくれる環境なので、解析の結果や業務の効率化など目に見える成果もやりがいを感じます。

※ 学生時代にやっておいてよかったことは

卒業研究を自分なりに頑張ったことが心の支えになっています。研究内容は異なっても、仕事への取り組み方や姿勢は似ていると感じるので現在のモチベーションになっています。

※ 休日の過ごし方(リフレッシュ方法)について

漫画やアニメ、好きな動画を見るなど、インドアに過ごすことが私にとっては一番のリフレッシュです。コロナ禍でインドアな娯楽がかなり充実したので、オンラインの謎解きゲームやボードゲームをプレイしたりもします。



所属：情報本部
採用試験名：一般職(大卒程度) 入省3年目
試験区分：電気・電子・情報
趣味：アクセサリーを作るなどの手芸
試験対策で重視した事
：モチベーションの
維持と真摯な受け答え(面接)

ベース ハート
拠点を造り、気持ちに寄り添う

役割と特色

日本には、多くの自衛隊や在日米軍の基地等があり、その中にあるひとつひとつの施設が我が国の防衛を支える必要不可欠な基盤であることは言うまでもありません。また、地方公共団体や地域住民の方々の御理解・御協力の上で自衛隊や在日米軍の活動が成り立っていることを忘れてはいけません。

そのため、全国に8か所(札幌市・仙台市・さいたま市・横浜市・大阪市・広島市・福岡市及び嘉手納町)ある地方防衛局では、防衛力を支える“拠点を造り、地域の方々の“気持ちに寄り添い、様々な施策を講じています。



業務内容

地方防衛局の主な業務は、①防衛政策についての理解を得るための情報提供や説明の実施、②自衛隊や在日米軍が使用する防衛施設の建設、③防衛施設用地の取得・管理、④防衛施設周辺における対策事業や訓練に伴う損失に対する補償など、その業務は多岐にわたります。

全国約2,400名の地方防衛局の事務官及び技官は、行政官や建築・土木・設備の技術者として「我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つ」一翼を担っています。



防衛省と地域社会の良好な関係を築く架け橋として

※ 現在の職務内容について

私は、防音対策課において、自衛隊の航空機等による騒音の影響を軽減するため、基地周辺地域に所在している住宅の防音工事に必要な経費を助成する事業に携わっています。周辺地域の皆様の負担を軽減し、ご理解、ご協力をいただくための職務です。

※ 志望動機について

航空自衛隊基地に隣接した空港に飛行機をよく見に行っていたため、幼い頃から自衛隊を身近に感じており、自衛隊と関わる仕事に興味を持っていました。その中でも地方防衛局は、自衛隊と地域社会を繋ぐ架け橋としての役割を持ち、地域の方とも積極的に関われる点に魅力を感じ、志望しました。

※ 休日の過ごし方(リフレッシュ方法)について

休日は、散歩をするなど外の空気に触れてリフレッシュしています。時には少し遠出をしてハイキングやデイキャンプにも行くこともあります。また、休暇を取得しやすい環境にあるため、週末に旅行へ行くなど余暇を楽しんでいます。

※ 防衛省や自機関の魅力・アピールポイントについて

地方防衛局は、自治体や住民の方と関わる機会が多く、周辺地域との良好な関係を保ちながら防衛政策を円滑に実施するために活動しています。

仕事内容は多岐に渡り、人前に立ち率先して取り組みたい方にとっても、十分に力を発揮する機会を与えてくれる組織です。



所属：東海防衛支局 防音対策課
 採用試験名：一般職(大卒程度) 入省2年目
 試験区分：行政
 趣味：温泉巡り、塗り絵
 試験対策で重視した事：学習時間の配分

自衛隊の運営の架け橋へと

※ 現在の職務内容について

私は現在、防衛施設の建設に携わる監督業務等を行っています。自衛隊員が防衛施設を安全かつ快適に使用出来るように努めています。技術的な知識が必要なため、日々知識の習得に精進しています。

※ 防衛省や自機関の魅力・アピールポイントについて

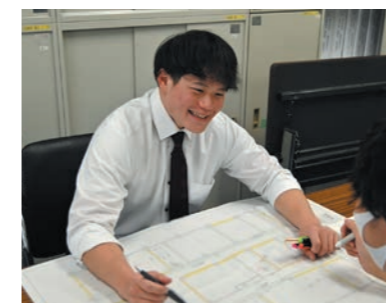
東北防衛局の設備課では、東北6県内の自衛隊施設や米軍基地内の建設に携わる監督官業務を行っています。工事の監督官として完成まで携わる事ができ、完成した際の達成感を味わうことができます。また、全国に職場があり様々な自衛隊施設にかかわることができる素敵な職場です。

※ 休日の過ごし方(リフレッシュ方法)について

休日はジムで筋トレをしたり、友人とサウナや釣りに行ったりとのんびりとした時間を過ごし、心をリフレッシュしています。また、好きなバンドのライブに行ったり仕事のやる気を高めたりして楽しんでいます。

※ 仕事で普段心がけていることは

防衛施設を建設していく上で、困難な課題や調整事項が生じた場合には、上司に相談して仲間と早期解決するように努めることです。早期に解決することが出来れば、解決する手段の幅が広がり、より良い方向へと進めることができます。



所属：東北防衛局 調達部 設備課
 採用試験名：一般職(高卒程度) 入省3年目
 試験区分：技術(電気・情報系)
 趣味：筋トレ、音楽鑑賞、サウナ
 試験対策で重視した事：苦手の教科を何度も繰り返し勉強したこと

事務官・技官×自衛官＝PEACE

役割と特色

陸上自衛隊は、国民の身近な存在として常に「安全・安心・平和」を守るため、各種事態への抑止及び対処、多次元統合防衛力を実現する陸上防衛力の整備を推進しつつ、大規模災害発生時にはいかなる状況にもいち早く対応できるよう万全を期するなど、平時から有事までのあらゆる事態において我が国の防衛の中核となる組織です。

防衛省内最大規模となる約7,400名の職員が在籍しており、全国に所在する約200ヶ所を超える部隊等において様々な業務を行っています。



業務内容

事務官は、災害派遣等にかかる物資の調達や家族支援などの業務を行っています。また、前線で活躍する自衛官の人事なども行っています。

技官は、自衛隊施設の維持管理、工事設計・監督や修繕に必要な資材の調達、装備された武器、車両、航空機の部品調達や仕様書の作成、サイバー攻撃等に関する情報収集・分析など携わる業務等に従事しています。自衛官と事務官等と一緒に仕事をする仲間として協力し合いながら勤務しています。



「人事(ひとごと)」じゃない「人事(じんじ)」

※ 現在の職務内容について

多種多様な装備品の整備を行う部署で人事係として勤務しており、事務官等の昇給、異動の調整等の人事業務の他、各種手当の申請、年末調整等の給与業務も担当しています。

※ 仕事のやりがいについて

人事、給与は隊員の生活に直接関係してくる部分であるため責任のある仕事で、担当する人数も多いため大変ですが、その分仕事を終えた際は大きな達成感を得ることができます。

※ 防衛省や自機関の魅力・アピールポイントについて

陸上自衛隊の魅力は、多岐にわたる業務や人に出会える点です。様々な業務に携わるため、日々勉強になることばかりです。また自衛官と事務官等と一緒に勤務しており、出身地や専門分野などが多種多様なため、新たな価値観や考え方を得ることができ、人間力が磨かれる職場だと思います。

※ 休日の過ごし方(リフレッシュ方法)について

休日は、職場の先輩と温泉へ行ったり、美味しいものを食べに行ったりしています。社会人になり趣味に使えるお金が増えたこと、自動車を購入し遠出ができるようになったことで充実した休日を過ごしています。



国防を担う

※ 現在の職務内容について

主に駐屯地内の施設、設備の維持管理業務をしています。不具合が発生している箇所の修繕や改修工事を企画し、実施する際には監督官として調整や工程管理などを行っています。

※ 志望動機について

高校では土木系の学科に在籍し、土木関係で様々な地域で仕事をしたいと思っていたところ、高校の先生から勧められ興味がわいたので受験することに決めました。

※ 休日の過ごし方(リフレッシュ方法)について

舞台を見るのが好きなので、公演がある時は観劇に行きます。普段は家で音楽を聴いたり、ゲームをしています。小学校から高校まで吹奏楽部所属だったこともあり、趣味で楽器を弾いたりもしています。

※ これまでの勤務で印象に残ったエピソード

初めて駐屯地に入った時が自分の中で印象に残っています。最初に勤務した場所は高射学校でしたが、テレビや画像でしか見たことの無い車両が普通に駐屯地内の道路を走っているのを見た時は驚きました。



所属：北海道補給処整備部
採用試験名：一般職(大卒程度) 入省3年目
試験区分：行政
趣味：ドライブ、温泉
試験対策で重視した事：色々な方に面接練習を
してもらおうこと



所属：自衛隊中央病院 総務部 管理課
採用試験名：一般職(高卒程度) 入省5年目
試験区分：土木
趣味：舞台観劇、ゲーム
試験対策で重視した事：専門学校主催の
公務員採用試験対策の受講

海の事務官・技官に飛び込もう！

役割と特色

海上自衛隊は、海上からの侵略に対し国土を防衛するとともに、我が国周辺海域における海上交通の安全を確保することを主な任務としています。護衛艦、潜水艦、航空機等の様々な装備品を効率的に運用し、国際社会における安全保障の構築といった役割も担っています。



業務内容

様々な装備品を有する海上自衛隊で勤務する事務官・技官はスケールの大きい仕事ができます。

海上自衛隊と聞いて護衛艦だけをイメージするかもしれませんが、潜水艦、航空機等の様々な装備品があり、それらに付随する経理・補給・維持整備・管理・取得業務やその他、人事・厚生などの業務に携わることができます。

なお、艦艇の乗員になることや、戦闘訓練・体育訓練を行うことはありません。もちろん泳げなくても大丈夫です。

海上自衛隊では、我が国の平和と安全を守るため、多種多様な業務を通じ、海上自衛隊の任務遂行に貢献できる熱意と意欲のある人材を必要としています。



福利厚生の面から海上自衛隊員を支える

※ 現在の職務内容について

私の所属する部署では隊員の福利厚生に関する業務を行っています。中でも私は、防衛省共済組合の運営する貯金業務を担当しており、組合員貯金の預入や払戻のほか、貯金口座に関連するシステム上の手続きを行っています。

※ 仕事で普段心掛けていることは

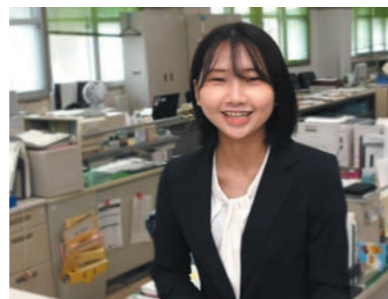
組合員の大切な金銭を取り扱う仕事であるため金額の誤りや入力ミスには特に注意をしています。少しのミスで組合員に不利益をもたらす可能性があるため、手続きの際は入念に確認することを心掛けています。

※ 防衛省や自機関の魅力・アピールポイントについて

国防というと前線で働く自衛官を思い浮かべますが、入省してからは後方で働く自衛官・事務官等の存在も大きく感じます。また、防衛省は職務の幅も広く、様々な視点や立場から自分の特技を生かした仕事を見つけられるところに魅力があると考えます。

※ これまでの勤務で印象に残ったエピソード

研修や教育の機会が多くあるところです。自衛隊の知識のないまま入省したので不安もありましたが、術科学校での研修を通じて、事務官として必要な基礎知識を身につけられるので、安心して仕事を行えるのがいいところだと感じます。



海上自衛隊の情報通信・情報収集を守る仕事

※ 現在の職務内容について

現在は海上自衛隊佐世保造修補給所に所属し、艦艇の無線機やレーダ等の通信電波機器に対する検査や修理の監督業務を行っています。定期的な検査等を通して艦艇の任務遂行に必要な能力の維持に努めています。

※ 仕事で普段心がけていることは

私は普段、乗員とこまめにコミュニケーションをとるように心がけています。防衛技官は艦艇で勤務することがないため、乗員と知識や認識が異なります。様々な業務を行う上でこの違いが障壁となるため、普段から連絡を取り、乗員の意見を理解できるようにすることが大切だと考えています。

※ 休日の過ごし方(リフレッシュ方法)について

土日祝日は基本的に休みなので、家でゲームをしたり友人とツーリングや釣りに行ったりしてリフレッシュしています。休暇も取得しやすいので、連休を活用して帰省し、家族や地元の友人と過ごしています。



※ 防衛省や自機関の魅力・アピールポイントについて

各部隊や企業の方々と協力し、万全の状態で艦艇を送り出すことができたとき大きなやりがいを感じます。実際に艦艇に搭乗し、乗員の方とコミュニケーションをとることもあります。海上自衛隊でしかできない仕事に携われることが一番の魅力だと感じています。



所 属：佐世保造修補給所 武器部 通信電子科
採用試験名：一般職(大卒程度) 入省2年目
試験区分：電気・電子・情報
趣 味：ツーリング、ゲーム
試験対策で重視した事：自分が得意な科目を重点的に勉強しました

所 属：大湊基地業務隊 厚生科
採用試験名：一般職(高卒程度) 入省2年目
試験区分：事務
趣 味：ショッピング、映画鑑賞
試験対策で重視した事：試験や勉強ともにベース配分を考えて行う

空と宇宙を守り抜く

役割と特色

我が国では、地上における警察、海における海上保安庁に相当する「空における警察力」が存在していません。そのため、航空自衛隊は、平時から有事まで一貫して我が国の空の平和と安全を担う唯一の組織となっています。

また、航空自衛隊は従来の領域(領空)に加え、宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域への対応に取り組みます。

我が国の宇宙空間の安定的利用を確保するため2020年5月の「宇宙作戦隊」新編に続き、2022年3月に「宇宙作戦群」を新編するなど、航空自衛隊は進化を続けます。



業務内容

航空自衛隊の事務官等は、航空自衛隊の中核機関である航空幕僚監部及び部隊等において勤務しています。自衛官、事務官等の生活に直結する人事、会計、厚生や航空機の円滑な運航に必要な航空機部品の調達、管理のほか、装備品などの維持改善、品質管理、研究開発などの業務に従事しています。こうした業務を適切に実施することで、各種事態に対し迅速かつ効果的に対応することが可能になるなど、航空自衛隊が任務を遂行する上で非常に大きな役割を果たしています。

航空自衛隊は、自衛官と共に国防の一翼を担い国民の負託に応え、我が国の安全に寄与する熱意と意欲のある人材を必要としています。



みんなの幸せを支えます。

※ 現在の職務内容について

私は小牧基地業務隊で共済係として出納業務を担当しています。仕事内容は、毎日の現金の動きの記録や金銭に係る窓口対応、ATMの運用に関する業務を行っています。幅広い業務があるので今後も知識を深めていきたいです。

※ 志望動機

高校生の頃、学校に防衛省職員の方が来て下さりこの職を知りました。普段中々立ち入る機会のない基地の中で勤務できる点と、自衛隊員を支えることで国防の一翼を担える点に魅力を感じ志望しました。

※ 休日の過ごし方(リフレッシュ方法)について

休日は、趣味であるライブハウスや野外ライブに足を運んでいます。好きなアーティストのパフォーマンスを間近で見ることで良い気分転換になり、また仕事を頑張ろうという気持ちになります。

※ 防衛省や自機関の魅力・アピールポイントについて

雰囲気の良い職場環境で働けることです。入省する前は自衛隊の組織に対し堅い印象を持っていましたが、実際は何かあればすぐに相談することができ、一人一人丁寧に向き合ってくれる明るく温かい上司、先輩が多いです。



技術力による航空防衛力の可能性拡大

※ 現在の職務内容について

今後の航空防衛力を担う航空機の装備品やミサイル等について飛行試験を実施し、どのような特性や性能を持つのかデータの解析処理を行っています。また、異常なデータが出た場合はパイロットにも危険が及ぶため、責任感を持って業務に取り組んでいます。

※ 仕事で普段心がけていることは

職務の性質上、間違えたデータ処理を行うと、関係部署や参照しているデータにも大きな影響を与えてしまうため、少しでも不明な点が生じた場合は、その都度、先輩や上司に確認を取るようにしています。

※ 休日の過ごし方(リフレッシュ方法)について

平日はデスクワークで体を動かす機会が少ないため、休日はランニングをしたり、レースに出場したりしています。レースで優勝したりすると、達成感を味わえ、とても爽やかな気分になります。今年はフルマラソンで2時間40分を切ることを目標にしています。

※ これまでの勤務で印象に残ったエピソード

出張の際に、官用機のヘリコプターに乗せてもらったことです。乗り込むときの風の強さや、車や鉄道とは比べ物にならないスピードで目的地に到着するなど、とても感動しました。他では中々経験させてもらえないことが経験できました。



所属：飛行開発実験団 飛行実験群計測隊
採用試験名：一般職(大卒程度) 入省3年目
試験区分：電気・電子・情報
趣味：ランニング、カラオケ、旅行
試験対策で重視した事：教養試験は得意科目に絞って対策する



所属：第1輸送航空隊 基地業務群 業務隊
採用試験名：一般職(高卒程度) 入省3年目
試験区分：事務
趣味：ライブハウスに行く
試験対策で重視した事：横試や過去問でより多くの問題を解くこと



自衛隊のリーダーを育てる

役割と特色

防衛大学校は、将来、陸・海・空各自衛隊の幹部自衛官となるべき者を育成するために設置された教育機関で、東京湾と富士山を望む神奈川県横須賀市の小原台に位置しています。近年、自衛隊には任務の多様化や国際化などに柔軟に対応する質の高い人材の確保・育成が求められており、防衛大学校においても世界一の士官学校を目指し、安全保障環境の変化に対応する人材育成を事務官等と教職員が一体となり検討・推進しています。

業務内容

防衛大学校で勤務する事務官等は、学校の特性である学生教育に直結した教務事務や防衛大学校学生採用の入学試験業務、学校運営に関わる広報や予算の執行など様々な行政事務や国際化・グローバル化への対応、留学生の受け入れを行う国際交流業務、さらには学生の教養の向上推進を図った図書館事務などがあり、それぞれ一人ひとりが多岐にわたる重要な仕事を受け持ち、将来の幹部自衛官となるべき優秀な人材育成にかかる業務を担っています。

未来の国防の中核となる優秀な人材の確保を担う

※ 現在の職務内容について

防衛大学校本科学生の募集広報に関する業務を担っています。HPの更新や動画の撮影・編集・掲載に関する業務を主に行っています。その他、オープンキャンパスやオンライン説明会を準備・実施しています。

※ 志望動機について

これまで当たり前享受してきた「平和」を守る側になりたいと思い入省を志望しました。特に将来の各自衛隊の幹部自衛官となるべき人材の育成の一翼を担うことで、広く貢献できるのではと考えました。

※ これまでの勤務で印象に残ったエピソード

オープンキャンパスや入試相談会に参加してくれていた学生が、受験生として入試を受験し、合格者名簿に名前が載っていた時には、自分の受験の時のように嬉しく感じました。

※ 仕事で普段心がけていることは

上司及び後輩と積極的にコミュニケーションを図ることを心がけています。些細なことでも、周りに報告・相談することで、業務を円滑に効率よく進められるように心がけています。



所属：教務部 入学試験課
採用試験名：一般職（大卒程度） 入省3年目
試験区分：行政
趣味：パン作り
試験対策で重視した事：面接シートの作成



平和に貢献する医療・看護の人材育成

役割と特色

防衛医科大学校は、医師である医官等の幹部自衛官、保健師・看護師である幹部自衛官及び技官（卒業後は防衛医科大学校病院に採用され勤務）となるべき者を養成するほか、自衛隊の任務遂行に必要な治療に関する臨床研修及び研究を行うことを目的として設置された防衛省の機関です。また、防衛医科大学校病院は、学生の臨床実習及び自衛隊医官の臨床研修の場であると同時に、特定機能病院、第3次救急指定病院、災害拠点病院、がん診療指定病院に指定された総合的な医療機関です。2020年2月以降は新型コロナウイルス感染症患者の受け入れも行っており、地域医療の拠点としての役割を果たしています。

業務内容

防衛医科大学校に勤務する事務官等は、医官や看護官・技官の人材育成にかかる行政事務、施設の建設・維持管理等業務、教官及び学生等に関する教務事務、病院の医療事務等の幅広い職務に従事しており、本校の教育、医療活動を支える重要な役割を担っています。

充実した医療教育・研究環境の一翼を担う

※ 現在の職務内容について

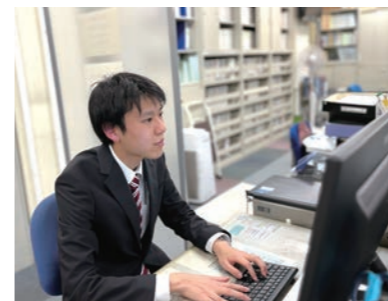
防衛医科大学校の物品の管理や調達に関わる業務に従事しています。医療や教育、研究に必要な機材等を調達し、それらが適切に管理されているかを検査しています。物品管理を通じて、より良い教育・医療の提供を支えています。

※ 志望動機について

小さいころから防衛医科大学校の近所に住んでおり、地域医療を支えている素晴らしい機関だと感じていました。こういった機関で働き自分も地域医療を支えられるような仕事がしたいと思い志望しました。

※ 仕事で普段心がけていることは

様々な業務を同時進行で行うことが多いため、優先順位をつけて計画的に業務をするように心がけています。また、わからないことがあっても過去の資料等を参考にまずは自分で考えるようにしています。



※ 防衛省や自機関の魅力・アピールポイントについて

国防という重要な国家活動を医療という側面から支えられるというのは防衛医科大学校の他機関とは違う特色だと思います。厳しい医療の現場をより近くで実感することができ、良い刺激になります。



所属：経理部 経理課
採用試験名：一般職（大卒程度） 入省3年目
試験区分：行政
趣味：散歩、ジョギング
試験対策で重視した事：苦手科目の反復演習



防衛研究所

防衛省のシンクタンク！

役割と特色

防衛研究所は、防衛省のシンクタンクであるとともに、我が国唯一の国立の安全保障に関する学術研究機関です。安全保障や戦史に関する調査研究を行うほか、戦史史料の管理・公開を担っています。また、諸外国の国防大学に相当する教育機関として、防衛省・自衛隊の幹部及び他省庁の職員等への教育を行っています。

2018年12月の防衛大綱において、「防衛研究所による研究と政策支援を高い水準で両立させるため、政策部門との間の連携を促進するとともに、防衛研究所を中心とする研究体制を一層強化する」ことが掲げられました。

また最近では、2021年8月、文部科学大臣から科学研究費補助金取扱規程に規定する研究機関としての指定を受け、防衛研究所の研究者が科研費に応募できるようになりました。これにより、研究能力の向上、科学コミュニティへの一層の貢献が期待されます。

これからも防衛研究所は、安全保障・防衛に関する議論の醸成や国家安全保障に関する政策支援のため、さまざまな取組みを推進していきます。

防衛研究所は、教官、事務官等及び陸・海・空の自衛官から構成されており、その中で事務官等は、総務、人事等の管理業務のほか事業計画の立案、国際交流事業の企画等に携わっています。



監察を通じて不正防止、コンプライアンス意識を浸透

役割と特色

防衛監察本部は、防衛大臣直轄の組織として、防衛省・自衛隊のすべての組織に対して、独立した立場で監察を行い、業務遂行上の問題点を発見し、改善策を助言し、不正な行為の未然防止に取り組んでいます。会計手続きや入札手続きなどの各種業務の状況や、パワー・ハラスメントなどへの対策がとられているかなど、さまざま観点から監察を行っています。これにより、防衛省・自衛隊が任務を遂行するために不可欠な前提である国民の皆様の防衛省・自衛隊に対する信頼を揺ぎないものにするのが、防衛監察本部の任務です。

また、職員一人一人のコンプライアンス（法令遵守）意識の浸透・向上を図るため、コンプライアンスに係る講習会を各地で開催するとともに、啓発資料の作成に取り組んでいます。

防衛監察本部の事務官等の職員は、総務、人事や会計等の管理業務、監察の企画・立案、監察の実施業務など重要な職務に従事しています。

Q1 防衛省が求める人材はどのような人材ですか？

A 幅広い視野を持ちつつ、行政・事務区分については、様々な業務に関心を持ち、自分から積極的に学んでいける人材を、技術区分については、専門の業務だけでなく、新しいことにも積極的に挑戦できる人材を求めています。

Q2 防衛省では、本省採用を行っていますか？

A 本省内部部局、本省所在機関及び防衛装備庁において（大卒程度）「行政」区分の全ての地域の合格者から本省採用を行っています。本省内部部局では、主に政策の企画・立案等に従事し、将来的に安全保障・防衛政策の実現のための中心的な役割を果たすことが期待されます。また防衛装備庁では、庁内の内部管理のほか、装備政策の企画・立案や装備品のプロジェクト管理等の業務に従事することとなります。

なお、2021年に新設した本省所在機関では統合幕僚監部、陸上幕僚監部、海上幕僚監部、航空幕僚監部、情報本部及び防衛装備庁のいずれかの機関での採用となり、各機関における施策の企画・立案等に従事します。また、3年目からは本省内部部局での勤務となります。

Q3 採用後はどのような人事管理になるのですか？また、人事異動のサイクルはどのくらいですか？

A 採用後、中央と各地方ブロックを単位とした人事管理となり、概ね2～3年のサイクルで人事異動がありますが、転勤する場合でも、ブロック内が基本となります。

※ただし、希望・適性等によっては、地方ブロック採用であっても本省への異動も可能です。なお、専門職種で経験を積むことが必要とされる研究職などについては、上記より長いサイクルで人事異動することもあります。

Q4 採用後に勤務期間、勤務地及び携わりたい職務の変更を申し出ることはできますか？

A 毎年、本人に対して意向調査が行われるので、ここで自己の希望を人事担当者へ伝えることができます。ただし、勤務機関及び勤務地については組織の要望や欠員状況によって、携わりたい職務については、本人の能力、適性を見極めて決定することとなるため、必ずしも全て希望どおりとはなりません。

参考 採用予定者数(2022年度)

国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）

試験区分 採用予定機関	試験区分											備考
	行政	デジ 電気 電子	機械	土木	建築	物理	化学	農学	農業 農村 工学	林学		
本省内部部局	20	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※印の区分から5名採用予定
本省（所在機関）	60											
防衛大学校	3											
防衛医科大学校	3											
統合幕僚監部		10										
陸上自衛隊	156	※	※	※	※							※印の区分から30名採用予定
海上自衛隊	57	※	※	※	※							※印の区分から37名採用予定
航空自衛隊	23	※	※									※印の区分から13名採用予定
情報本部		※		※								※印の区分から12名採用予定
地方防衛局	78	※	※	※	※							※印の区分から45名採用予定
防衛装備庁	23	※	※									※印の区分から11名採用予定
合計	423											

国家公務員採用一般職試験（高卒者試験）
国家公務員採用一般職試験（社会人試験（係員級））

試験区分 採用予定機関	高卒者		社会人（係員級）
	事務	技術	
防衛大学校	3		
防衛医科大学校	2		
陸上自衛隊	132	47	3
海上自衛隊	61	17	
航空自衛隊	102	11	
情報本部	11	13	
地方防衛局	26	40	5
防衛装備庁	14	8	
合計	351	136	8

自衛官に興味がある方はこちら！



福利厚生

共済組合

防衛省共済組合は、職員と家族が健康でより快適な生活ができるよう健康保険や年金などの事業のほか貯金、貸付、各種健診、宿泊関連の助成や、レジャー施設、各種スクールの割引利用などのサービスの提供に係る運営を行っています。



共済組合窓口

優れた健康管理体制

防衛省には独自の病院が全国各地にあるほか、各職場には医療施設が設けられており、職員は職場内で病気の治療を受けることができます。



自衛隊中央病院

食堂・売店等施設

職場には、メニューが充実している食堂・フードコートや、様々な商品を取り扱う売店等があり、働く上で便利な環境となっています。



フードコート

福利厚生施設

防衛省共済組合直営の宿泊・婚礼・宴会施設や外部委託契約による民間保養施設等が割引金額にて利用できます。



グランドヒル市ヶ谷

採用担当×若手職員座談会

若手職員が語る。
業務のやりがい、
防衛省の魅力



海上自衛隊

＊自己紹介をお願いします

A: 海上幕僚監部補任課職員人事管理室のAと申します。海上自衛隊で働く事務官、技官、教官等の採用業務を主に行っております。また、その方たちの入校や研修の調整も併せて行っております。本日はよろしくお願いいたします。

B: 横須賀地方総監部経理部原価計算課のBと申します。横須賀港を母港とする艦船等の検査や修理にかかる契約の予定価格の算定業務を行っております。こちらこそよろしくお願いいたします。

＊AさんからBさんへ質問！

A: さっそくですが、私からBさんに質問させていただきます。まず、海上自衛隊で働く事務官の魅力を教えていただけますか。

B: 入省後にさまざまな職務を経験できるということだと思います。例えば経理のほか、厚生や補給といった職種があるんですが、入省時に自分の職種が決まってしまうわけじゃなく、海上自衛隊の場合、入省してから、自分にあった職種に決まります。自分では分からない適性があったりと思うんですが、実際に働いてみただけで、自分の適性にあった職種に将来、専門的に就いていけるというのが海上自衛隊の大きな魅力だと思っています。

A: 入省してから自分がやりたい仕事を見つけれられるのは、海上自衛隊のいいところですね。

B: そうですね。今は経理業務をやっているのですが、実際、私が所属している課においては、補給の仕事である物品の調達なども必要になってきますし、厚生の仕事も詳しくないとなかなか仕事が進まないこともあります。なので、これから色々な業務を経験していきたいと思っています。若いころの経験が決めて無駄にならないとても良いキャリアパスだと思います。

A: では、次の質問にいきます。入省前と入省後でのギャップがあれば教えていただけますか？

B: 職場の雰囲気は、国防に関して常に一定の意識は持ちつつも、普段は和やかです。おそらくほかの官庁であったり企業と変わらないような職場環境なんじゃないかなと感じています。入省前は、自衛隊は階級社会で厳しい人がいたりとか、国防を担うので常に緊張感をもってピリピリしているんじゃないかっていうようなイメージがあったんですが、入省してみると、職場は階級や立場にかかわらず話しかけやすい方々が多く、雑談をしながら気軽に相談に乗って頂いたり、おかげで業務を円滑に遂行できています。

＊今度はBさんからAさんへ質問！

B: 私からは2点ですね。官庁訪問では参加者のどんなところを見ているのかなということをお聞きしたいと思います。

A: 私は採用担当として官庁訪問に来られる方をご案内しています。来られる方のほとんどが緊張していますので、面接前に若手職員との懇談を準備させて頂いたりもしています。懇談の時は、若手職員が業務の説明をしながら受験生の皆さんの緊張を解いていくような感じで対応していくのですが、一生懸命、楽しそうに説明を行っていた若手職員も多くいて、こんな後輩ができて本当に嬉しいな、と思うこともたくさんあり、海上自衛隊の事務官・技官の将来も安泰だな、と感じましたね。

B: 私の場合も懇談会があったおかげであまり緊張せずに面接に臨めたので、すごい良かったですね。面接官もすごく優しい方でした。

A: 海上自衛隊って、面接官も優しい方多いですね。

B: もう1つの質問として、若手職員に期待していることって何かあるでしょうか。

A: 私から若手職員へ期待は2つあります。協調性と積極性ですね。協調性については、どこの職場においても必ず必要なもので、これがないと仕事って絶対に進まないですね。特に若手職員の業務については、一人でやるものはほとんどなく、チームで行う仕事が多いと思います。自分が困った時などに周囲の先輩や上司等をうまく巻き込んで円滑に業務を行うために、協調性というのは必要不可欠なものです。次に積極性なんですけど、Bさんが魅力とおっしゃっていたとおり、海上自衛隊の事務官は、経理・補給・厚生など、色々な仕事を経験していきます。だから何でも興味を持って積極的に仕事をするのは、とても大事ですね。

＊最後に受験者へメッセージを！

A: 海上自衛隊では、定期的にオンラインによる業務セミナーを行っております。開催の予定がない時期でも直接メールをいただけましたら、なるべく都合を合わせて企画をさせて頂きたいと思っていますので、皆さんからのご連絡をお待ちしております。

B: 明るい人が多く、一緒に仕事していて楽しいです。結構つらい仕事っていうのもあったりするんですが、Aさんに話したとおり、周り雑談とかしながら明るく仕事をやれるので、ぜひ海上自衛隊を目指して頂きたいと思っています。



採用担当A

好きな言葉：
なるようになる



若手職員B

好きな言葉：
人あってこそ自分



防衛装備庁

＊自己紹介をお願いします

A: 防衛装備庁長官官房人事官付のAと申します。防衛装備庁職員の採用に関する業務を行っていて、特に今回のような一般職の方を中心に担当しています。今日はよろしくお願いたします。

B: 防衛装備庁航空機部品器材室のBと申します。私は、原価計算業務を行っており、主に、航空機の修理や点検時に必要になる器材等の調達を行うための予定価格を算定しています。こちらこそよろしくお願いいたします。

A: なかなか難しそうな業務ですね。一年目からすごい。

＊業務のやりがい、教えて下さい。

A: 採用業務に関してですが、若い方と接するのはとても新鮮です。受験生と採用担当者は最初、どうしても一定の距離感があります。そういう関係性の中で、私が内定を伝える場面っていろいろあるんですね。そこで初めて受験生に対し「内定させていただきました」と直接お伝えした直後の受験生の反応といいますか、それはもう、素で本当に喜んでる声を聞いたりする時にはすごくやりがいを感ずきますね。業務上というよりは、単純に一人の人間として嬉しいなって思う瞬間です。

B: 実際に担当した、器材が現場で活躍している姿を見た時です。入庁して半年目くらいの装備庁の研修で、実際に部隊が働いているところを見せていただく機会がありました。航空自衛隊の基地だったので、部隊のほかに航空機も見せてもらったんです。C-2という輸送用航空機であまりの大きさにみんな唖然としていたのですが、私はその隣にある器材に夢中になっていました(笑)自分が今年度調達したのや、今後調達するようなものが航空機の整備に貢献している姿を見て、「私の仕事は間接的にだけでも日本を守っているんだ」と感動しちゃいました。

＊BさんからAさんへ質問！

B: 防衛省が求める人物像は何かありますか？

A: 防衛装備庁は調整事も多い機関ですので、コミュニケーション能力を持っている方や、あと、何にも臆せずというか、前向きに取り組む方ですかね。難しい仕事も多いので。

B: 確かに今Aさんがおっしゃられたことは、私の今の仕事においても必要だと感じます。

B: 入庁するまでに、何かやっていたほうがいいことありますか？

A: この質問はよく聞かれますね。特に何か資格があった方が良いのかと聞かれることが多いです。確かに資格があった方が良いとは思いますが、実際の仕事については、入庁していろいろな方に教えてもらいながら覚えて行くので、あまり気にする必要はないと思います。

B: 私、入庁当時はパソコンが苦手だったのですが、職場の人達に教えてもらって、今は人並みにはできるようになりました(笑)

＊では、AさんからBさんへ質問！

A: Bさんが思うどんな職場だったらいいなとか、こんな人と一緒に働いたらっていうのはありますか？

B: はい、仕事の話だけでなく、軽い雑談もできるような、雰囲気が明るい感じの職場が良いです。また、向上心もあって、仕事に積極的な方と働きたいと思います。

A: 今の職場はどうですか？

B: 理想、そのままです(笑)

A: 続いてなんですけど、理想の上司ってどんな人ですか？

B: はい、最後まで話を聞いてくれる人と、いろんなことに挑戦させてくれる人です。いずれ私も、部下や後輩をもつようになったら、そういう上司になりたいと思っています。

A: 最後まで話を聞いてくれるっていうのは、業務もそうだし、何かちょっと砕けた話とかも、そういう感じですか？

B: そうですね。仕事上のことだけではなく、プライベートのことも話せるような関係性が理想です。

A: 防衛省防衛装備庁で、自慢できることって何だと思いますか？

B: 一番の自慢は防衛装備品を生で見る事ができる、ということなんです。装備庁は研修制度がしっかりしているので、希望をすればいろんな研修に参加できますし、出張で企業へ赴き製造ラインなども見られる機会も十分にあります。私も入庁4か月目で北海道出張に連れて行ってもらいました。装備品に興味がある人にとっては、刺激が強くやりがい多き職場だと思います(笑)

A: では、最後の質問です。ワークライフバランスはどれだけ重視してますか？

B: 私は100%重視です！

A: 素晴らしい。

B: 休日に身体と心をしっかり休ませることによって、いい仕事ができると思っています！

A: 休暇もまさにワークライフバランスっていう感じですね。

＊今日こうして何か思うことありますか？

B: 受験当時を思い出しました。入庁前は厳しいイメージがあったので自分が組織になじめるかとても不安でしたが、こうして自分の仕事を振り返って見て、防衛装備庁に入庁してよかったと再確認できました。このような機会をいただき、ありがとうございました！

A: 実際、今日こうしてBさんとお話して、まだ一年目なのに、しっかりとできていて、さっきから感心していました。

B: ありがとうございます(笑)まだまだ未熟なので、これからいろんなことを吸収していきたいと思っています。

A: そうですね。これからいろいろ経験を積んで、もっともっと素晴らしい未来を切り開いてもらいたいと思います。



採用担当A

好きな言葉：
早さは力



若手職員B

好きな言葉：
Take it easy
(気楽にいこう)



採用

係員



防衛医科大学校 病院事務部
運営企画課

採用試験名：一般職(大卒程度) 入省2年目
試験区分：行政
趣味：パソコンゲーム、
IT系の資格勉強

自衛官である父の影響で学生の頃から防衛省・自衛隊に関心があったため、私も防衛行政を担いたいと思い、防衛省に入省しました。

当課では、防衛医科大学校病院の運営状況を把握し、改善策の検討・立案を行っております。当該業務を通じて医師・看護師等の方々をサポートできることにやりがいを感じます。



係長



航空幕僚監部 人事教育部補任課
職員人事管理室補任主任

採用試験名：一般職(大卒程度) 入省7年目
試験区分：行政
趣味：読書

大学生の時にブルーインパルスの展示飛行を見たことをきっかけに航空自衛隊に興味を持ち、業務説明会等に参加するなかで、教育制度が充実していることやアットホームな雰囲気の魅力を感じ入省しました。

現在は、全国の職員の人事管理を行う部署で勤務しており、なかでも育児休業取得や国外出張の手続き等を担当しています。人事は隊員の人生に関わる仕事であるため、深い専門的知識と強い責任感が必要ですが、日々充実感を得ながら業務にあたっています。



課長補佐



近畿中部防衛局 企画部 周辺環境整備課

採用試験名：Ⅱ種 入省19年目
試験区分：土木
趣味：サイクリング、釣り

小学生の頃、毎年剣道の大会が航空自衛隊築城基地内で行なわれていました。その際見学させていただいた戦闘機等に興味を持ったのがきっかけで、防衛庁(当時)に入庁しました。

入庁後は、防衛施設と周辺地域との調和を図るため、防衛施設に関連する市町村が実施する様々な施策に対し補助金等を交付する業務に従事させていただいており、地方公共団体等の要望に出来る限り応えるため、上司や班員、また、地方公共団体の担当者と連携し、事業遂行のため日々取り組んでいます。



広報課長です!
QRコードを是非チェックしてください☺

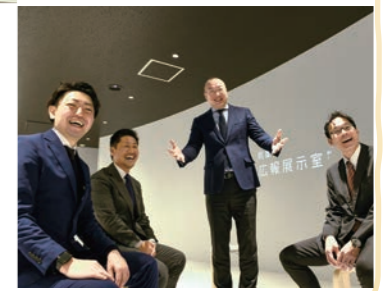
管理職



大臣官房広報課長

採用試験名：Ⅲ種 入省33年目
試験区分：一般事務
趣味：ゴルフ、キャンプ

Youtube
動画はこちら!



研修制度について

階層別研修

内部部局を含め、各機関で実施する研修を通じ、職場における職務を通じた知識及び技能の習得のみならず、職場を離れて各職位に必要な知識及び技能を修得するとともに、同期等との絆を深めることができます。

初任研修

係員級
研修

係長級
研修

補佐級
管理職
研修

専門研修

各機関で勤務するにあたって必要となる専門的な知識やスキルを身につけることができます。

各種専門研修
(英語・法務・会計・情報処理・通訳・人事等)

人事院研修

国民全体の奉仕者としての使命感の向上、資質・能力の向上、研修員間の相互理解・信頼関係の醸成を目的とした人事院の研修に参加し、政府全体の視点から見た行政について学ぶことができます。

行政研修
(係員級)

行政研修
(係長級)

行政研修
(補佐級)

行政研修
(課長級)

ワークライフバランス

男性も女性もともに働きやすい職場となるように、働き方の見直しや、在宅勤務などの育児や介護等と両立して活躍できる勤務環境の整備に取り組み、職員の仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を推進しています。

※ 職場における仕事改革

超過勤務における上限規制

2019年4月より、長時間労働は正のため、超過勤務の上限規制が設定されました。

超過勤務縮減

業務の効率化、上司による超過勤務の事前確認の徹底に取り組んでいます。また、超過勤務の縮減や休暇取得などのワークライフバランスの推進や、テレワーク等の活用に取り組むよう、大臣からメッセージを発信してもらっています。

年次休暇の計画的使用の促進

年間15日以上年次休暇取得を目標としています。また、年末年始休暇や夏季休暇にプラスしたり、家族の行事や記念日に合わせた休暇の取得を推進しています。

※ 働く時間と場所の柔軟化

テレワークの推進

防衛省・自衛隊においては、テレワークの実施が不可能な業務を除き、全ての機関においてテレワークが実施可能となっております。

フレックスタイム制

フレックスタイム制（1週間あたり平均の勤務時間が38時間45分（4週間の場合155時間）となるように割り振る制度）を利用し、勤務時間数や時間帯を選択できます。

早出遅出勤務

子育てや介護を行う職員が、1日の勤務時間の長さを変えることなく、始業・終業の時刻を繰り上げて（もしくは繰り下げて）勤務することができます。

※ ライフステージ等に応じた休暇制度

出産・育児

- **不妊治療休暇**
不妊治療に係る通院等のために年5日（体外受精及び顕微授精に係る通院等は10日）
- **産前・産後休暇（女性のみ）**
出産予定日6週間前、出産後8週間を経過するまでの期間
- **配偶者の出産特別休暇（男性のみ）**
妻の入院から出産の日後2週間までの間に2日
- **育児参加のための特別休暇（男性のみ）**
妻の産前から産後1年以内に5日
- **育児休業**
子が3歳に達する日まで休業可能
- **保育時間確保のための特別休暇**
生後1歳未満の子を授乳や託児所への送迎等のため、1日2回それぞれ30分以内
- **子の看護のための特別休暇**
小学校入学前の子の養育のため年5日（2人以上の場合は、10日）



介護

- **短期介護休暇**
介護及びその他必要な世話のため、年5日（2人以上の場合は10日）
- **介護休暇**
介護のため、通算6か月までの期間内において指定する期間
- **介護時間**
介護のため、3年の期間内、1日2時間以内

仕事と家庭、両立できることに日々感謝しながら

※ 現在の職務内容について

中央業務支援隊で人事業務を担当しています。昇格や昇給、勤勉手当等の選考に必要な資料作成や、非常勤職員の採用等を行っています。

※ 仕事と家庭生活の両立について

仕事と家庭の両立は、時にはハードだと思うこともありますが、職場では育児時間を利用していることもあり、周りの方々に多く支えて頂き、家庭では家族から元気をもらい、温かさや感謝を感じない日はありません。とても充実した日々を送っている実感が年々増していることに気がきます。

※ 防衛省を目指す女性へのメッセージ

防衛省には出産、育児等の変化に対応できる制度と、何より人の温かさがあります。私も今まで上司や先輩、同僚から受け取った優しさを、今度は後の世代へ送ってあげたいと思っています。沢山の温かさになれることができる防衛省へ、ぜひ飛び込んできて下さい。



所属：陸上自衛隊
中央業務支援隊 総務部 総務科
採用試験名：Ⅱ種 入省18年目
試験区分：行政
趣味：サッカー観戦、ライブ鑑賞
活用した支援制度：産前・産後休暇、育児休業、育児時間



所属：防衛大学校 教務部 教務課
採用試験名：一般職（高卒程度） 入省4年目
試験区分：行政
趣味：家族と公園巡りすること
活用した支援制度：配偶者の出産特別休暇、育児参加のための特別休暇、子の看護のための特別休暇、フレックスタイム制

仕事も余暇も両方充実！

※ 現在の職務内容について

ワークライフバランス推進ハンドブック（海上自衛隊版）のデジタルブック化に携わり、誰にとっても利用しやすいものになるよう、機能やデザイン等について提案しています。また、あらゆる隊員がワークライフバランスを実現できるよう、有効な方策について考えています。

※ 余暇の充実

テレワークをした際は、課業時間後に普段はなかなかできない家事の手伝い等を通して家族とのコミュニケーションをとることができました。休日は同期と食事に行ったり、ドライブをしたりしてリフレッシュしており、ワークライフバランスの重要性を実感しています。

※ 防衛省を目指す女性へのメッセージ

入省前は、男性職員の方が圧倒的に多いイメージがありましたが、実際はそうではなく、男性、女性の上司や諸先輩方が優しく、丁寧に接して下さり、入省してよかったと実感しています。防衛省は、女性の方も働きやすい環境が整っています。



防衛省は、女性職員が少ないイメージがあるかもしれませんが実は4人に1人が女性職員です。男女ともに、仕事もプライベートも充実できる制度が整っています！
By 防衛省採用担当

育児は大変だからこそ、楽しく！

※ 現在の職務内容について

防衛大学校の本科学生の教育に関する業務に従事しております。具体的に、教育委員会の庶務業務及び本科学生の履修要覧・シラバス・授業時間表の作成に関することや、本科学生の学位授与申請に関すること等を行っています。

※ 仕事と家庭生活の両立について（工夫したこと、気づいたこと等）

平日、自宅にいる時間が少なかったことから、家族時間を作る大切さに気づきました。所掌会議の短縮化など業務効率化をしたことで、就寝時間前まで子供と接したり、子供の就寝後は妻と2人でお茶の時間を楽しむなどの家族時間を作ることができました。今後もこういった家族時間を必ず作るようにします。

※ これまでの勤務で印象に残ったエピソード

勤務先内で結婚指輪をなくしてしまい、上司にその旨伝えたら職場の人がこれは家庭の危機だと総出で指輪の捜索をしていただいたのが印象に残っています。まさか総出で探してもらえるとはいわなかったもので、良い職場に恵まれたなと感じました。



所属：海上幕僚監部 人事教育部 人事計画課
採用試験名：一般職（大卒程度） 入省1年目
試験区分：行政
趣味：ドライブ、旅行、映画鑑賞
活用した支援制度：テレワーク